

日 時 : 2013年4月28日(日) 晴れ時々曇り

参 加 : 岡本、佐々木裕 (L./記)

参加が2人なので、早朝からの日帰り山行に切り替えとする。5時にJR高田で岡本さんと合流し、出発。24号、309号で天川川合、ミタライから熊渡に入る。熊渡の駐車スペースが狭い為(7～8台)心配したが6:20着、最後の1台なんとか割りこせてもらい出発。

これからの季節、釣り客も多く駐車場の確保は要注意である!

入山届けを出しゲートをすり抜け林道を30分、弥山川への分岐を左へ取る。直進道は、今日の下りカナビキ谷へ続く。伏流のゴロゴロとした広い河原、白川八丁をテープに沿って遡行。

沢音に混ざり滝音が急に大きくなると滝群である。吊橋を渡り、一の滝下で一服、二の滝、三の滝から双門の滝が見上げられる。2～3組のパーティーも休んでいる。ここからが本格的な登りで1時間、双門の滝を望むテラスも良い展望だ(1260m程の高度)。

さらに苦しい登りの後、登下降を繰り返し沢筋に出るが、新旧の道が入り乱れる為見え隠れするテープに注意しながら右に左に沢を渡って進む。

河原小屋は、何年か前の山崩れで流されて跡形も無い。山肌には未だその爪痕が痛々しい。私は鼻水と咳で思うように足が上がらない、時間ばかり食って気が焦る。体調不良のようだ。

途中、鎖場や鎖梯子を越えてやっとの事で狼平着。5～6組のパーティーが眩しい程の青空の元、くつろいでいる。我々も昼食。二階建てのキレイな山子屋にはまだ誰も入っていないようだ。

一服後、弥山はあきらめ栃尾辻へ下る。弱冠の登り下りしながら頂仙岳を右に見ながらカナビキ谷分岐まで1時間強、注意して看板にマジックの手書きを見付ける。

右の谷へテープをたよりに尾根道を辿る。自然林の新緑が目にしみるようにキレイだ。岡本さんにももらった薬が効いてきてだんだん足が前に進む。つずら折りの道を一步一步降りる事1時間、金引橋着ほっと一息する。

ここから熊渡までは林道を30分程、体調不良の私で岡本さんの足を引っ張ってしまった山行でしたが、無事下りてこれました。JR高田で解散、ありがとうございました。

<参考タイム>

熊渡(駐車) 6:30—分岐 7:00—白川八丁—滝下 8:30—双門の滝前テラス 9:30—
河原小屋跡 11:00—13:00 狼平(昼食) 13:30—カナビキ谷分岐 14:40—
金引橋 15:45—16:20 熊渡(駐車) <行動 9:50>